

平成30年度

水力発電の導入促進のための事業費補助金（水力発電事業性評価等支援事業）

＜②地方公共団体が行う水力発電事業性評価・公募事業＞【二次公募】

## 1 補助対象事業

地方公共団体が行う地域の水力発電有望地点の調査・設計等及び当該地点で開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者の公募に要する経費のうち公募用資料作成に係るものを補助します。

対象事業：新設及びリプレイスする水力発電所  
発電出力：20kW以上10,000kW以下を見込むもの

## 2 補助対象事業者

地域における中小水力発電の有望地点を調査し、開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者を公募する地方公共団体

(\*)当該補助事業で調査・設計等した有望地点は、発電を行う者の公募（採択まで）を必ず実施してください。

## 3 補助対象経費

水力発電有望地点（※1）の調査・設計等（※2）及び当該地点で開発又はコンセッション方式によるPFI事業で発電を行う者の公募に要する経費のうち公募用資料作成に係るもの

※1…調査・設計等する水力発電有望地点：都道府県は2地点以上、それ以外は1地点以上  
※2…地質調査、地形測量、流量調査、河川維持流量調査、社会環境調査、基本設計等

## 4 補助率

補助対象経費に対して定額（10/10）  
ただし、1申請あたりの補助金の上限額は、原則として5,000万円/年とし、かつ、1発電所あたりの補助金の上限額は1,000万円/年とします。

## 5 事業期間

交付決定日～平成31年2月28日まで  
事業の実施上、単年度では事業完了が不可能であると確認できる事業については、原則最大3カ年まで複数年度事業として申請ができます。

## 6 公募スケジュール等

公募期間 平成30年8月20日（月）～平成30年9月28日（金）

交付申請書は、上記公募期間において随時受付をします。  
交付決定は11月上旬を予定しています。

**注意事項：交付決定日以降に初めて補助事業の開始（発注、契約）が可能となります。**

詳細はホームページ・公募要領をご覧ください。  
URL：<https://suiryokuhoho.jp/>

 一般財団法人新エネルギー財団

水力地熱本部水力普及促進部  
TEL:03-6810-0371、FAX:03-6810-0370

## 事例紹介

### 黒石市（H29～H31）事業実績事例

#### 事業名

中野川水系砂防堰堤を利用した小水力発電事業性評価・発電事業者公募事業

#### 事業の目的

黒石市では、第二次黒石市環境基本計画（平成26年3月）において地球温暖化対策を積極的に推進することとし、その施策の柱のひとつとして再生可能エネルギーの導入を進めることとしている。その一環として市内の中野川水系に設置された砂防堰堤2箇所において、水力発電設備の設置をめざし、水力発電の事業性評価を行うとともに、実施事業者の公募を行う。

#### 調査地点の設備概要

〈黒石市大川原字菟窯地先〉	〈黒石市大川原字烏沢〉
発電形式：水路式	発電形式：水路式
使用水量：0.93m <sup>3</sup> /s	使用水量：0.96m <sup>3</sup> /s
有効落差：7.66m	有効落差：7.43m
出力：50kW	出力：50kW

菟窯地先

烏沢



#### 調査概要（平成29年度）

- ① 現地（2地点）において、水位自動観測計による水位観測、流速計による流量観測を行った。また、現地地形の確認も併せて行った。
- ② 水位観測、流量観測、現地地形の確認等の現地調査を踏まえ、有効落差、使用水量、出力等の諸元を定め、設備利用率経済性も考慮し、発電規模、電力量を算定した。

### 郡上市（H29～H31）事業実績事例

#### 事業名

郡上市小水力発電事業性評価調査・事業者公募

#### 事業の目的

郡上市において「持続可能な循環型社会の構築」と「次世代につながる地域づくり」を実現するため、小水力発電事業の候補地点2地点における事業性を評価し、民間事業者を公募する。

#### 調査地点の設備概要

〈郡上市高鷲町大鷲〉 （高圧連系）	（低圧連系）	〈郡上市明宝気良〉
発電形式：水路式	水路式	発電型式：水路式
使用水量：1.91m <sup>3</sup> /s	0.93m <sup>3</sup> /s	使用水量：0.12m <sup>3</sup> /s
有効落差：8.60m	8.60m	有効落差：55.4m
出力：135kW	49.9kW	出力：49.9kW



取水予定の大鷲堰堤（高鷲町大鷲）

#### 調査概要（平成29年度）

- ① 当該取水河川長良川、宮原川において水位計設置、流量調査を行なった。
- ② 地形測量、河川測量、縦断測量等を行なった。
- ③ 既存資料の調査・把握、法規制の予備調査、予備検討を行なった。

### 広川町（H30～H32）H30一次公募事業概要

#### 事業名

筑後川水系における事業性評価調査・事業者公募

#### 事業の目的

広川町の山間部を抱える上広川地区の振興を図り、再生可能エネルギーの活用を目指すために検討したところ、同地区3か所について水力発電の導入の可能性が考えられる。本事業では、小水力発電の事業性評価を行うとともに事業者の公募を行う。

#### 調査地点の設備概要

〈広川町水原字堀田〉	〈広川町水原字堀田（広川防災ダム）〉	〈広川町水原字小豆洗〉
発電形式：水路式	発電形式：ダム式	発電形式：水路式
使用水量：0.35m <sup>3</sup> /s	使用水量：0.44m <sup>3</sup> /s	使用水量：0.57m <sup>3</sup> /s
有効落差：18.90m	有効落差：16.20m	有効落差：12.60m
出力：45kW	出力：49kW	出力：49kW